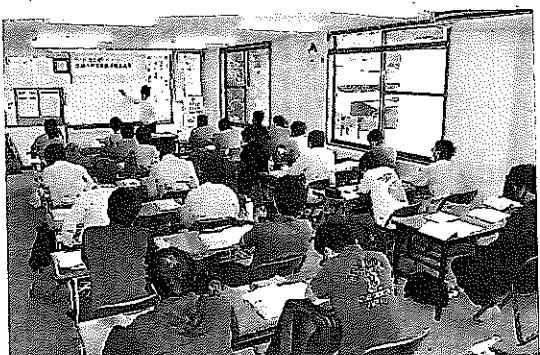


1	2	3
検印		

R2.10.1

学科試験へラストスパート

電設協が準備講習
一級施工管理技術検定



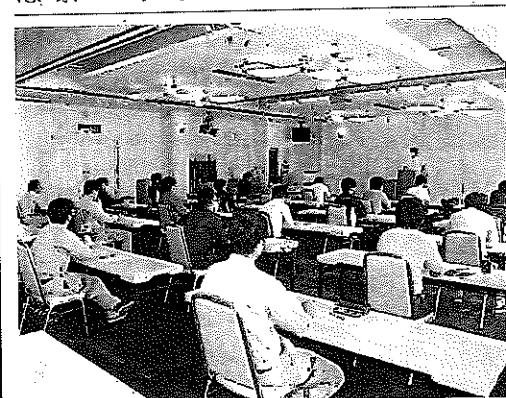
熊本県電設業協会(岩崎裕会長)の一級電気工事施工管理技術検定事前準備講習会が9月26日、エレテック本社(熊本市北区)であった。10月18日の学科試験に挑む会員企業の社員29人がラストスパートをかけた。エレテックの永野広朗取締役専務が講師を務め、岩崎裕会長は講師を務めた泰明電機の石坂敏明社長は

ため、テキストに沿つて建設業法や電気事業法などの法規を中心に6時間のカリキュラムを講義。資格取得後に現場で指揮を執る技士としての心構えなどを指導した。

永野専務は「試験までの残りの3週間は、受験者同士励まし合い、意識を高めながら勉強してほ

る」と話した。
今年度の一級検定は、当初6月14日に学科試験を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大

しげ」と話した。
熊本県電設業協会(岩崎裕会長)は9月25日、ユースピア熊本で低圧電気取り扱い業務特別教育を開いた。労働安全衛生法に基づく教育で、会員企業の電気業務従事者24人が、低圧電気や安全作業用具の基礎知識、活線作業の方法、関係法令などを学んだ。8時間の規定教育を修了した。



「誤解されがちだが、低圧電気は、経済産業省所管の電気工事士であつてなければならない」と説明。また、「災害も、特別教育を修了しなければ業務に就くことができない」と説明。また、「災害危険性についても、「災害発生件数は高まる。それだけ従事する機会が多い」ということ。特に肌の露出が増えると、汗を多くかく6~9月は十分に気をつけてほしい」と注意を促した。

防止等の観点から延期された。学科の合格発表は11月20日になり、来年2月21日に実地試験が行われる予定となっている。

24人が特別教育修了

電設協

低圧電気の取扱い業務



「誤解されがちだが、低圧電気は、経済産業省所管の電気工事士であつてなければならない」と説明。また、「災害も、特別教育を修了しなければ業務に就くことができない」と説明。また、「災害危険性についても、「災害発生件数は高まる。それだけ従事する機会が多い」ということ。特に肌の露出が増えると、汗を多くかく6~9月は十分に気をつけてほしい」と注意を促した。